



2023年1月27日

各 位

会社名 東海染工株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鷲 裕一  
コード番号 3577 東証スタンダード市場  
名証プレミアム市場  
問合せ先 取締役管理部長 河西 勝  
(TEL 052-856-8141)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ 2022年10月28日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想の修正

2023年3月期通期連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	13,700	220	320	30	9.40
今回予想 (B)	13,000	0	100	△160	△50.29
増減額 (B - A)	△700	△220	△220	△190	—
増減率	△5.1	△100.0	△68.8	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	11,142	73	115	48	14.96

### 2. 修正の理由

2023年3月期通期の業績予想数値につきまして、以下の理由により前回予想を下回る見通しであります。

#### (1) 受注環境の変化（捺染受注の大幅減少）

第3四半期以降、国内・海外における市況の急激な変化から、捺染受注が大幅な落込みとなっており、第4四半期におきましても受注状況の改善が図られない見通しであります。また、タイ国子会社では、加工の小ロット化が進んでおり、機械捺染からデジタルプリントへの移行が更に加速することが想定されるため、2022年12月末をもって捺染加工事業から撤退し、2023年1月度より無地染・晒加工場として新たなスタートを切っております。

#### (2) 想定を上回る生産コストの上昇

国内染色加工事業においては、原材料・エネルギーほか全てのコストが未だに上昇を続けるなか、薬品使用原単位削減、エネルギー使用量の削減活動などを実施して参りましたが、品目によっては購入価格が前年比2倍となるなど、想定を超える価格急騰にコスト削減が追い付かない状況が続いております。

#### (3) 適正な価格転嫁の遅れ

生産コストの異常かつ急激な上昇に対応するため、複数回にわたり加工料値上げを実施しましたが、値上げレベルを上回る仕入価格の上昇が続いており、今後も価格改定交渉を進めて参りますが、現時点においては充分かつ適正な価格転嫁には至っておりません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後、様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以 上